

# 佐野市景況レポート

令和7年10～12月期



佐野商工会議所  
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1  
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517  
HP <https://www.sanocci.or.jp>  
E-mail [s-cci@sanocci.or.jp](mailto:s-cci@sanocci.or.jp)  
調査協力：佐野市あそ商工会

## 《 概 況 》 インフレ下の対応を

### 【 令和7年10～12月期 実績 】

全業種業況 DI 指数は▲22.2、前期（9月期）比▲2.0ポイントと、市内事業所の業況感は前回9月の調査からやや悪化しました。

利益 DI 指数▲31.9（前期比▲4.4）、売上高 DI 指数▲19.3（前期比▲1.2）と、利益 DI 指数、売上高 DI 指数ともに悪化しました。また、原材料・仕入価格 DI 指数は48.9（前期比+8.9）、販売価格 DI 指数は11.2（前期比▲4.6）と、原材料・仕入価格 DI 指数は増加、販売価格 DI 指数は低下したため利益 DI 指数の悪化に繋がりました。一方、業種別の業況をみると、下位3業種は、①その他小売業、②飲食店、③卸売業と消費者関連業種が厳しい状況にあります。

### 【 令和8年1～3月期 見通し 】

3カ月先の全業種業況 DI 指数は▲20.7（前期比▲1.3）と、業況感はやや悪化の見通です。売上高 DI 指数▲22.1（前期比▲3.7）、原材料・仕入価格指数37.3（前期比+0.9）、販売価格指数6.0（前期比▲3.8）と、前期予想に比べ、売上高指数、販売価格指数は悪化し、原材料・仕入価格指数は高止まりの予想です。原材料・仕入価格の上昇を販売価格に転嫁しにくい状況です。

### 【 事業所等の景況コメント他 】

事業所等の景況コメントには、原材料・仕入価格の上昇に対し販売価格を上げられないとのコメントが寄せられました。物価上昇に伴う消費需要の減少など販売価格を上げにくい環境下がありますが、40年ぶりのインフレに対応した経営改革が必要な厳しい経営環境です。

### 〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（令和7年10～12月期）		見通し（令和8年1～3月期）	
業 況	▲22.2		▲20.7	
売 上 高	▲19.3		▲22.1	
販 売 価 格	11.2		6.0	
仕 入 価 格	48.9		37.3	
労 働 力	▲17.1		—	—

\* 天気図の説明  
（数字は DI 値）  
・ 仕入価格、販売経費、在庫は DI 値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26 以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26 以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

## ☆ 業況について（令和 7 年 10～12 月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲22.2、前期比▲2.0 ポイント低下

業種別 DI 指数

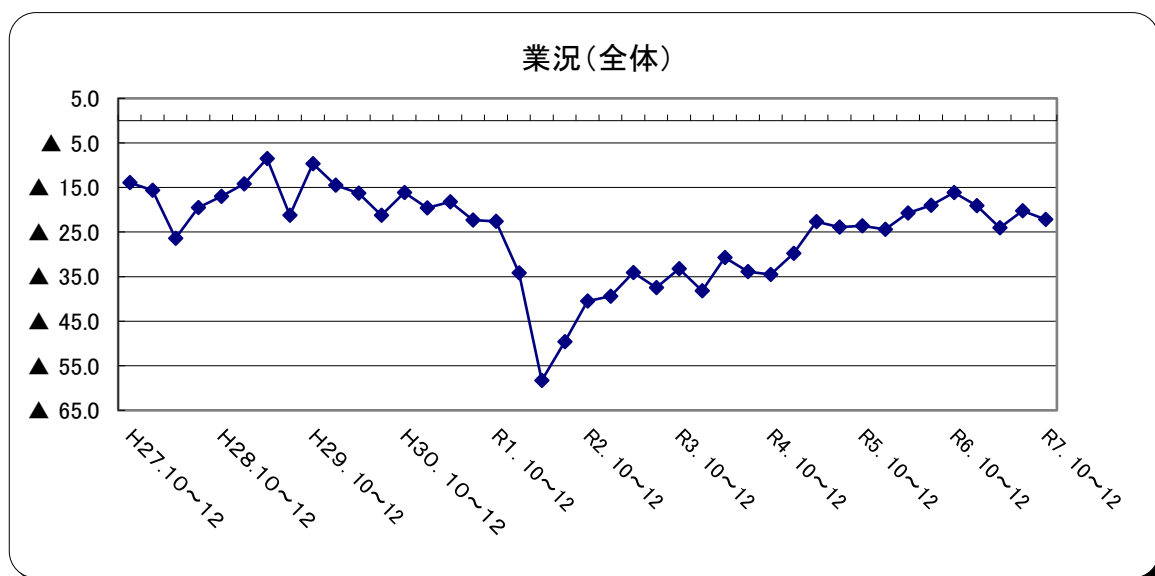
上位 3 業種

①化学・プラ製造業▲4.3 ポイント、②その他の製造業▲9.1 ポイント、③建設業▲9.4 ポイント

下位 3 業種

①その他の小売業(大型店含む)▲51.2 ポイント、②飲食店▲45.5 ポイント、③卸売業▲30.0 ポイント

良い  
↑  
悪い



## ☆ 売上高について（令和 7 年 10～12 月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲19.3、前期比▲1.2 ポイント低下

業種別 DI 指数

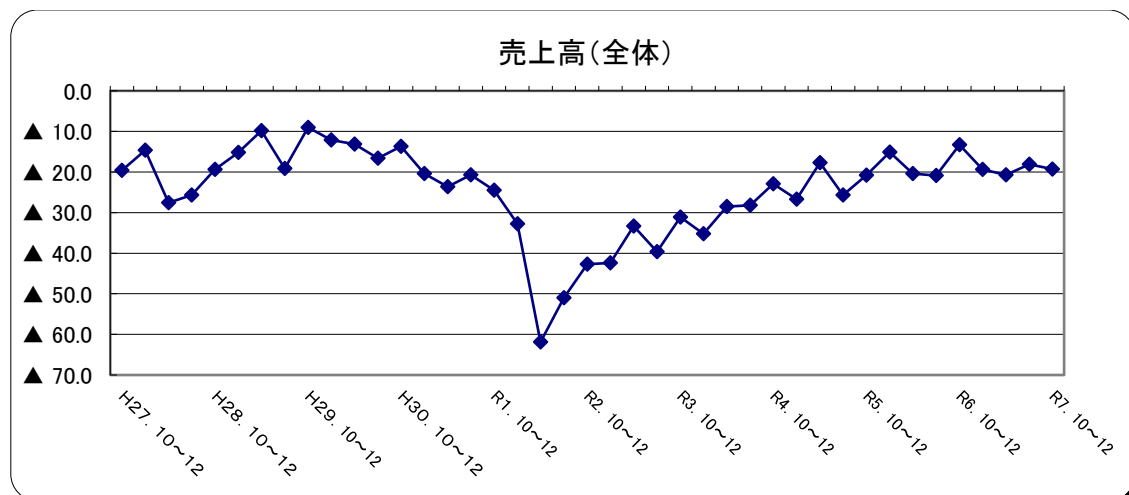
上位 3 業種

①その他の製造業 20.0 ポイント、②食品製造業 13.0 ポイント、③小売業(飲・食料品)11.1 ポイント

下位 3 業種

①飲食店▲56.3 ポイント、②その他の小売業(大型店含む)▲51.2 ポイント、③機械・金属製造業▲41.4 ポイント

増加  
↑  
減少



## ☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和 7 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数 48.9、前期比 8.6 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位 3 業種

①飲食店 73.8 ポイント、②設備業 66.7 ポイント、③食品製造業 65.2 ポイント

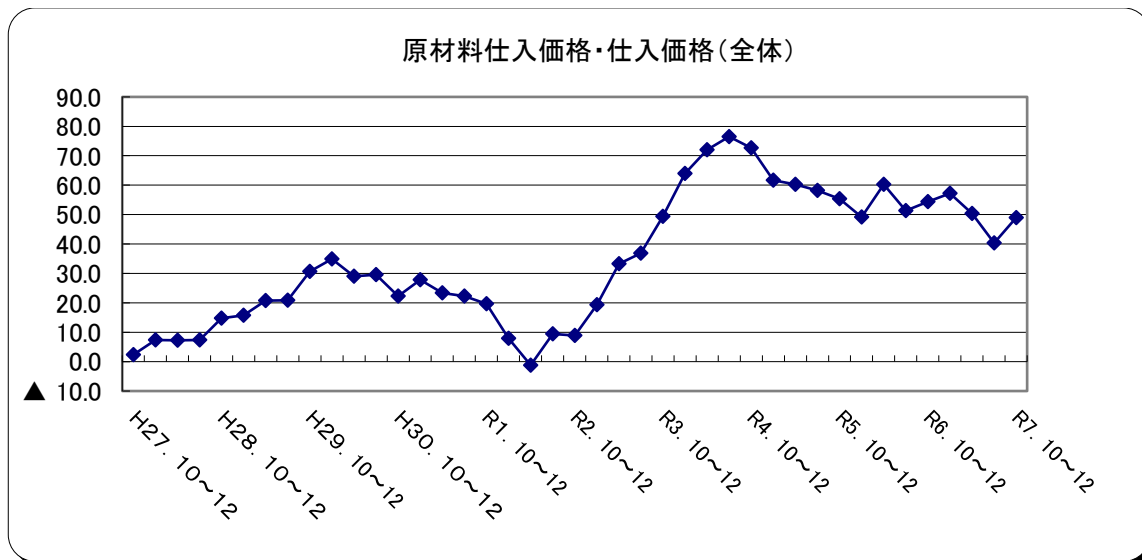
下位 3 業種

①機械・金属製造業 14.3 ポイント、②繊維品製造業 31.0 ポイント、③サービス業 33.3 ポイント

天気図



上昇  
↓  
下落



## ☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和 7 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数 11.2、前期比▲4.6 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位 3 業種

①小売業(飲・食料品)69.2 ポイント、②食品製造業 36.0 ポイント、③サービス業 20.0 ポイント

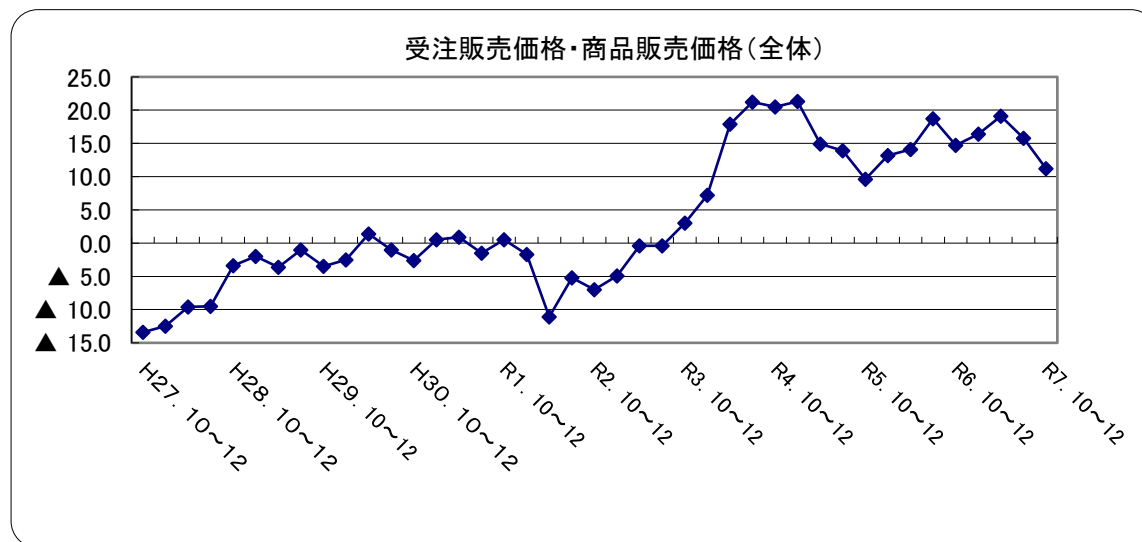
下位 3 業種

①機械・金属製造業▲18.8 ポイント、②設備業▲7.7 ポイント、③繊維品製造業 0.0 ポイント

天気図



上昇  
↓  
下落



## ☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和7年10～12月期実績）

全業種 DI 指数 2.0、前期比 1.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数

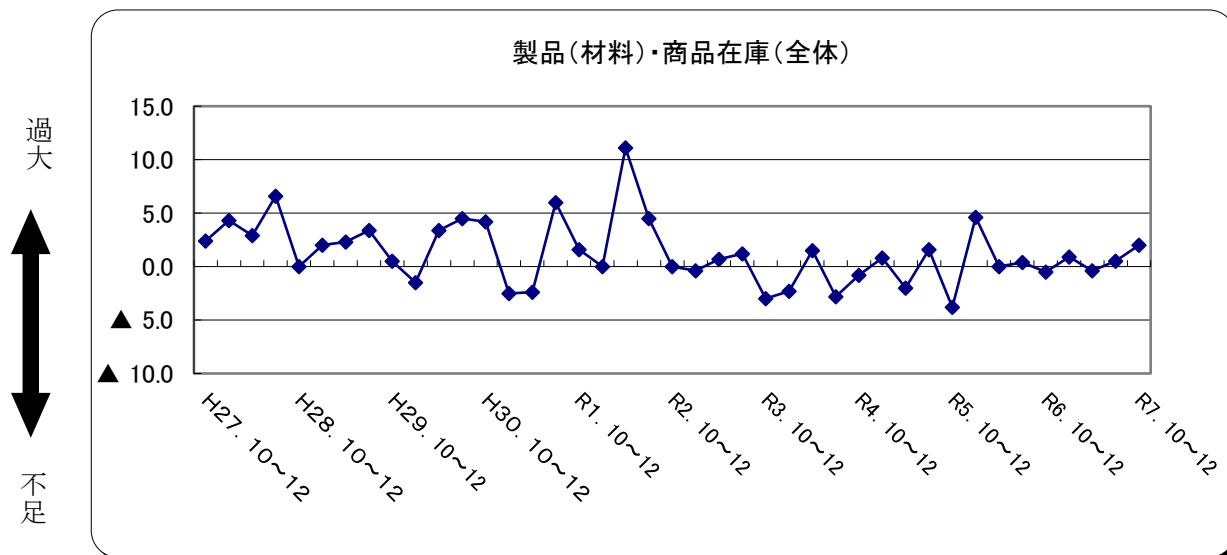
上位 3 業種

①機械・金属製造業 23.8 ポイント、②小売業(飲・食料品)20.0 ポイント、③繊維品製造業 10.3 ポイント

下位 3 業種

①食品製造業▲23.1 ポイント、②建設業▲9.1 ポイント、③設備業、その他の小売業(大型店含む)▲7.0 ポイント

天気図



## ☆ 利益状況について（令和7年10～12月期実績）

全業種 DI 指数▲31.9、前期比▲4.4 ポイント低下

業種別 DI 指数

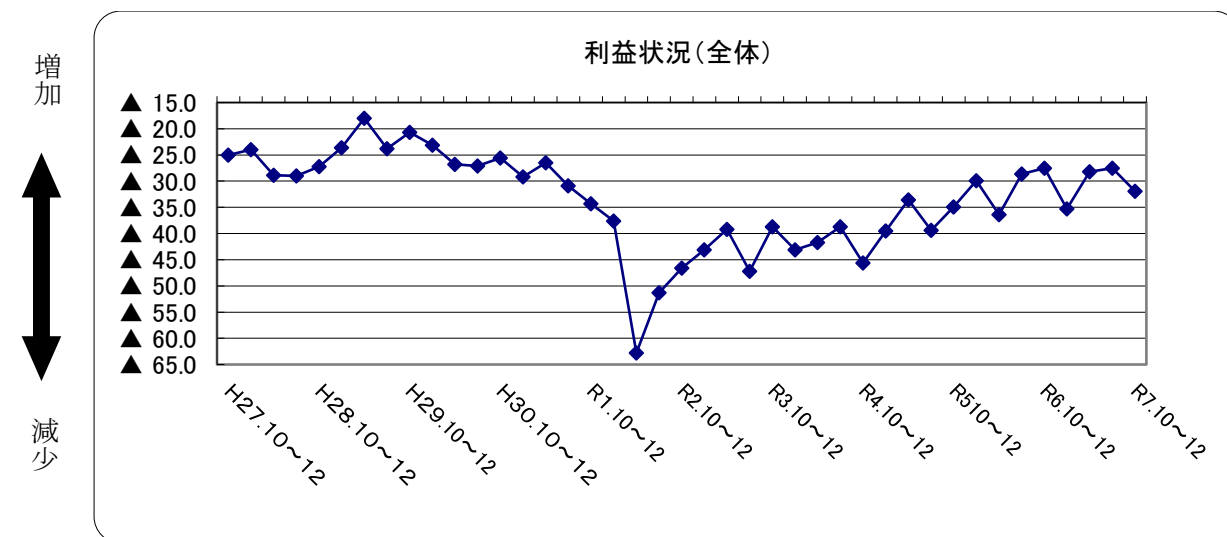
上位 3 業種

①その他の製造業 9.1 ポイント、②繊維品製造業 0.0 ポイント、③化学・プラ製造業▲17.1 ポイント

下位 3 業種

①飲食店▲61.9 ポイント、②機械・金属製造業▲57.9 ポイント、③小売業(飲・食料品)▲42.9 ポイント

天気図



## ☆ 資金繰りについて（令和7年10～12月期実績）

全業種 DI 指数▲20.1、前期比▲3.7 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位3業種

①卸売業 7.0 ポイント、②機械・金属製造業▲9.1 ポイント、③小売業(飲・食料品)▲10.3 ポイント

下位3業種

①飲食店▲50.8 ポイント、②その他の小売業(大型店含む)▲27.3 ポイント、③化学・プラ製造業▲26.5 ポイント

天気図

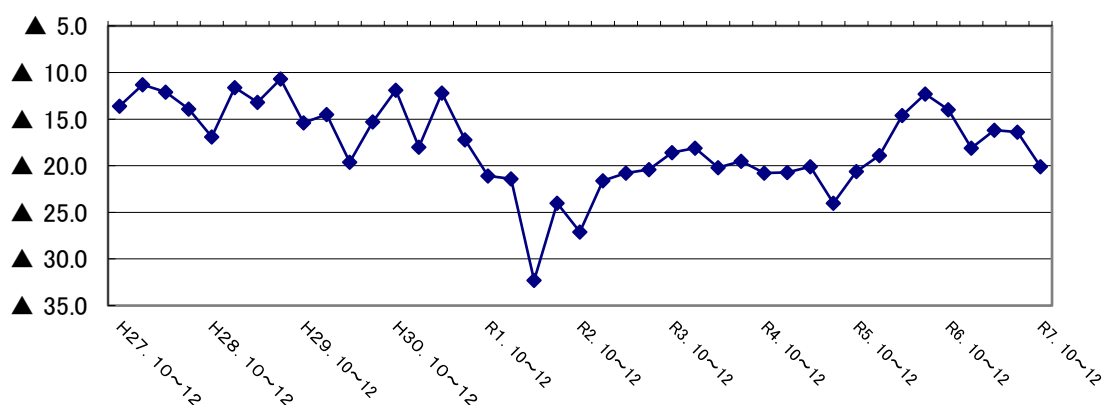


楽



苦しい

資金繰り(全体)



## ☆ 労働力について（令和7年10～12月期実績）

全業種 DI 指数▲17.1、前期比 0.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位3業種

①繊維品製造業、10.3 ポイント、②小売業(飲・食料品)9.7 ポイント、③飲食店▲4.1 ポイント

下位3業種

①建設業▲51.7 ポイント、②食品製造業▲36.0 ポイント、③設備業▲31.6 ポイント

天気図

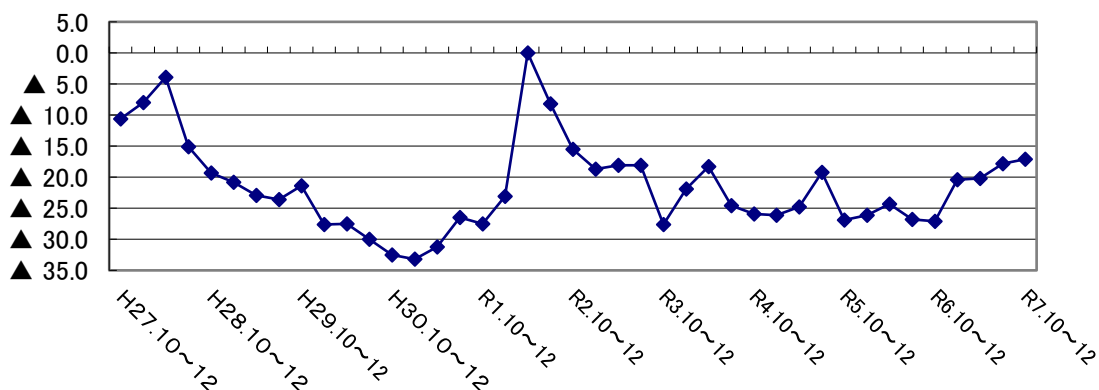


過剰



不足

労働力(全体)



# ☆ 設備稼働率について（令和 7 年 10～12 月期実績） （建設・設備・製造業関係）

天気図



全業種 DI 指数▲5.9、前期比▲1.1 ポイント低下

業種別 DI 指数

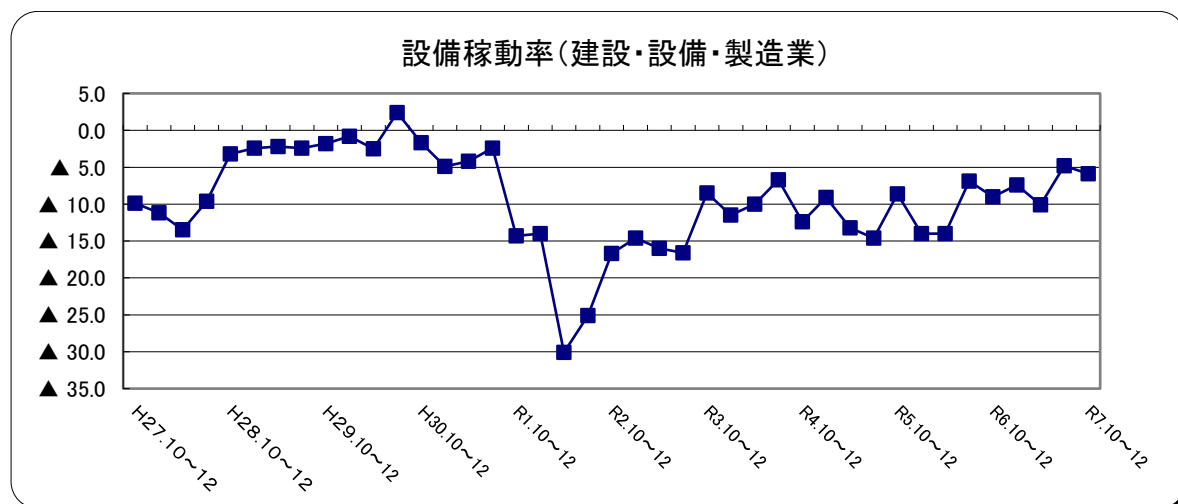
上位 3 業種

①その他の製造業 8.6 ポイント、②建設業▲9.4 ポイント、③食品製造業▲11.1 ポイント

下位 3 業種

①設備業▲38.5 ポイント、②繊維品製造業▲20.0 ポイント、③機械・金属製造業▲19.4 ポイント

高い  
↑  
↓  
低い



# ☆ 販売経費について（令和 7 年 10～12 月期実績） （商業・サービス業関係）

天気図



全業種 DI 指数 20.5、前期比▲11.5 ポイント低下

業種別 DI 指数

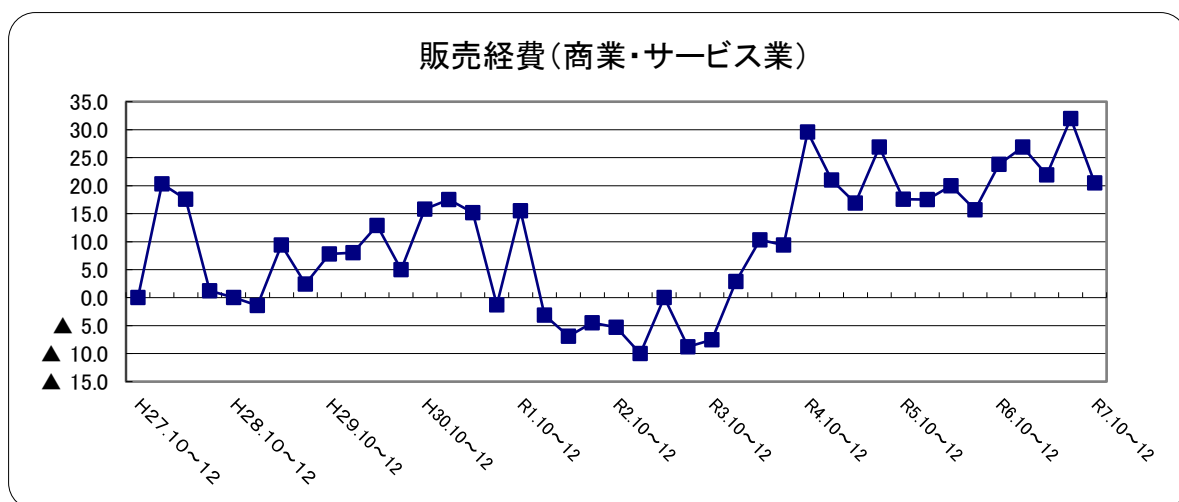
上位 3 業種

①飲食店 41.5 ポイント、②卸売業 24.3 ポイント、③小売業（飲・食料品）21.4 ポイント

下位 3 業種

①その他の小売業（大型店含む）6.7 ポイント、②サービス業 8.1 ポイント、③小売業（飲・食料品）21.4 ポイント

増加  
↑  
↓  
減少



## ☆ 今後3ヶ月先（令和8年1～3月期の見通し）の業況について

全業種 DI 指数▲20.7、前期比▲1.3 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位3業種

①建設業 9.7 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③サービス業▲8.8 ポイント

下位3業種

①その他の小売業(大型店含む)▲51.2 ポイント、②飲食店▲45.5 ポイント、③繊維品製造業▲31.0 ポイント

天気図

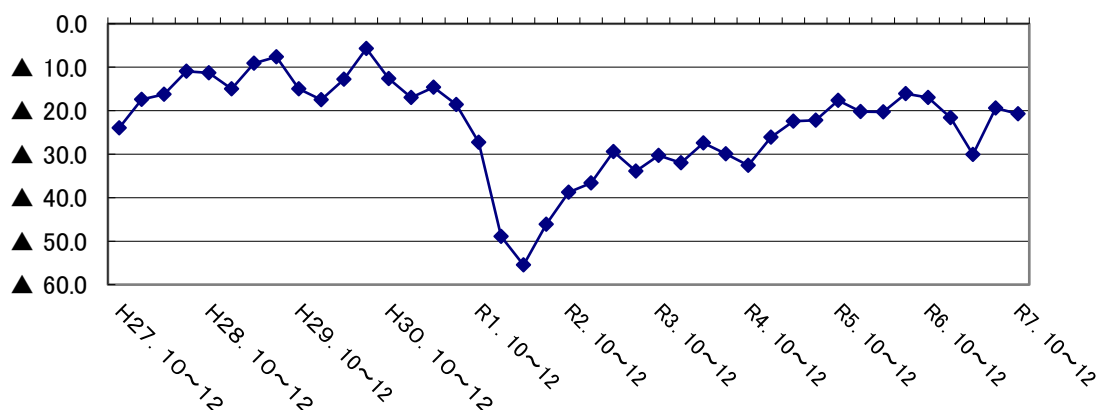


良い



悪い

業況予想(全体)



## ☆ 今後3ヶ月先（令和8年1～3月期の見通し）の売上高について

全業種 DI 指数▲22.1、前期比▲3.7 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位3業種

①食品製造業 12.0 ポイント、②建設業 9.7 ポイント、③小売業(飲・食料品)0.0 ポイント

下位3業種

①飲食店▲56.3 ポイント、②その他の小売業(大型店含む)▲51.2 ポイント、③設備業▲31.6 ポイント

天気図

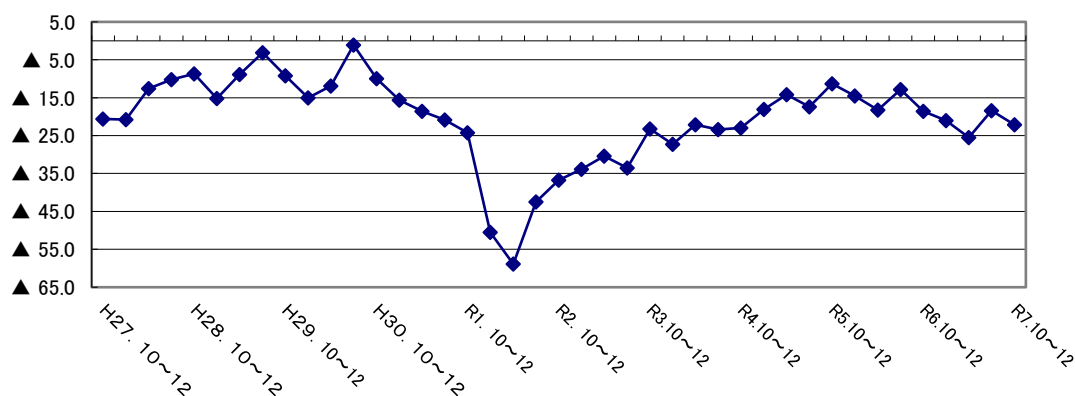


良い



悪い

売上高予想(全体)



## ☆ 今後3ヶ月先（令和8年1～3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 37.3、前期比 0.9 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位3業種

①飲食店 73.8 ポイント、②食品製造業 65.2 ポイント、③設備業 47.4 ポイント

下位3業種

①機械・金属製造業 9.4 ポイント、②化学・プラ製造業 21.1 ポイント、③サービス業 25.0 ポイント

天気図

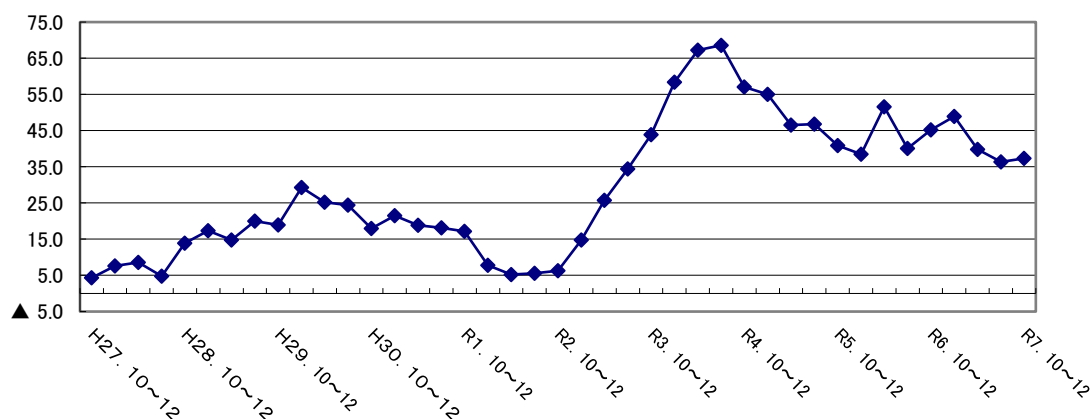


上昇



下落

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



## ☆ 今後3ヶ月先（令和8年1～3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数 6.0、前期比▲3.8 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位3業種

①小売業(飲・食料品) 31.0 ポイント、②繊維品製造業 20.0 ポイント、③建設業 13.8 ポイント

下位3業種

①機械・金属製造業▲9.4 ポイント、②設備業▲7.0 ポイント、③化学・プラ製造業、飲食店 0.0 ポイント

天気図

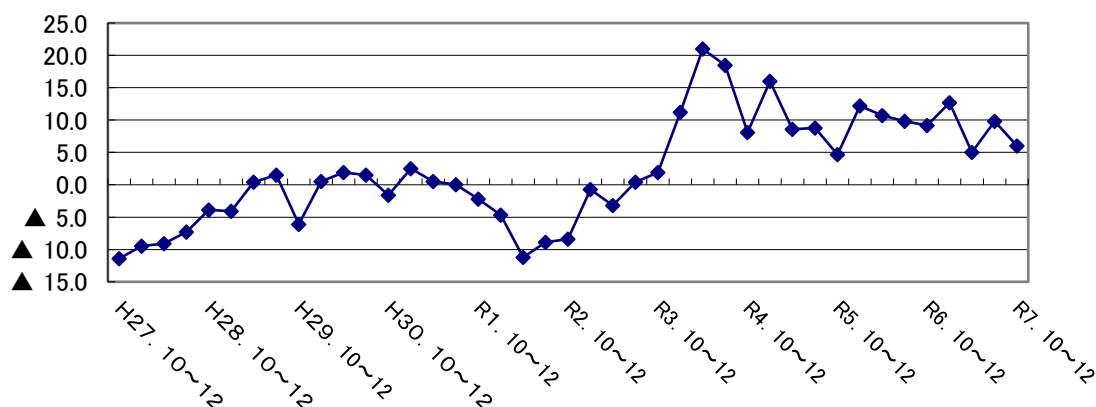


上昇



下落

受注販売価格・商品販売価格予想(全体)





## ☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

### 建設業

- ・仕入価格がもう少し下がることで売上アップになると思います。
- ・インフレの影響が続き仕入の値上げが止まらない状況。
- ・業界全体的に需要の減少を感じる。

### 設備工事業

- ・今後は、日中・米中関係の動向が注目されるなか、物価対策を含む総合経済対策の実施による景気の上昇に期待したい。
- ・仕入価格の上昇がちょこちょこあるのが止まらない。1、2 回の上昇は、販売価格の変更をしていないが 3 回目の上昇になると販売価格を変更せざるを得ない。数 10 円単位が数 100 円単位の上昇となってきた。
- ・空調機器や資機材等も値上げ、働き方改革の諸問題(休日出勤の代休対応が平日の営業及び人員のシフトに影響が大きい。)

### 繊維品製造業

### 食品製造業

- ・なかなか景気がよくなり先の見えない年になりました。年明けからの活況に期待したいです。
- ・うるち米もち米も高騰しておりますが、すべて商品に転嫁できず苦しい状況が続いています。
- ・為替の円安が続いているので資金繰りが大変な時があります。

### 機械・金属製品製造業

- ・中国の動向が気になります。日本経済にとってどのような影響が有るのか不明。当社は中国材を購入している。輸出規制が心配です。
- ・顧客の在庫調整と思われる事象により在庫量の調整のため生産を減少させた。
- ・巷に出ている仕事量が少なく、仕事の取り合いになり価格競争になり価格がさがり。負のスパイラル！

### 化学・プラスチック製品製造業

- ・材料の値上げ支払いサイト短縮により販売先の見直しが急務。利息の上昇による費用増からキャッシュフローの重要性が増している中、どこまで耐えられるか懸念。

### その他製造業

- ・今年はここ数年で特に仕事が少なかったです。
- ・冬場の需要期に入り注文は増えているが単価は据え置かれ納期は短縮、人手はない忙しい時の 3 重苦の状況にある。

### 卸売業

- ・印刷業関係の売上減少多。
- ・米の仕入価格動向が気に掛かります。
- ・人手不足・人件費増加・物価高に加え金利上昇が中小企業に大きな打撃を与えると思います。中小企業の倒産も増加するのでは？
- ・仕入価格上昇、売上高減少 景気の悪さを実感しています。
- ・トランプ関税の先行不透明感は薄れてきたが、以前米国の経済動向に左右される状況は変わらない。

## 小売業（飲・食料品）

- ・さとふるのオーダーがこの時期好調なはずなのにびっくりの少なさです。どういう経済トレンドか気になります。
- ・米価格高止まりの影響が大きい。
- ・客数の減少で売上のびず。
- ・卸してくれる問屋さんがやめていくので困っています。

## その他の小売業（大型店含む）

- ・人通りがない、年々悪くなっている。
- ・年齢層が高くなって、自然消滅しております。
- ・ブラックフライデーセールは客数増加。
- ・9月頃から来客数減少。
- ・高市内閣、医療費削減方針、薬価基準引き下げ患者負担増等将来の見透しは暗くなっていく状況、令和8年9月以降。
- ・来店客が減少中なので、景気のコメントが出来ません。
- ・暫定税率により仕入・小売がついて行けない。セルフにより値段が提示してある為お客さんが減少しています。

## 飲食店

- ・コロナ後もあまり変わらない感じがします。インフルなどのせいもあるかもしれません。
- ・仕入値が上昇していますが、販売価格を上げることはむずかしい。
- ・この所めまぐるしく仕入れ価格が高騰しているので、ただ忙しいだけで利益につながりません。何度も値上げできず困っています。このままでは商売を続けられない気がします。特に生物はすごくてイクラ・ウニ等必要なものが使えないくらい値上がりしています。
- ・物価上昇とインフルエンザ流行により客足不調。
- ・人件費、材料費の高騰、その他の高騰により利益がでない。
- ・あいかわらずの物価高騰に伴う不景気といった状況の中の運営に、この先の不安に戸惑う毎日ですね。
- ・さのまるペイは利用して下さるお客様が想像以上にあります。有難いです。今までの商品券と違って店側の取扱いが不安でしたが、今は換金等の手続きがなくて楽だと感じています。
- ・仕入価格、経費の上昇が続いており、販売価格の値上げの分客数減少しております。
- ・仕入価格が継続して上昇傾向にありますが、販売価格は頻繁には値上げできない状況です。
- ・仕入価格の上昇が止まらず商品価格に転嫁できずに苦しい。
- ・物価高やふけいきで最悪です。
- ・予約の動きが悪く、前年度よりもへっているようです。
- ・物価高で苦しむ国民には何も対策せず、財源がないと言いながら軍事費には予算をつける。今後も国保、所得税、高齢者医療費負担増、高校生扶養控除削減、たばこ税、走行距離税、薬の保険廃止などなど増税する見込みで、高市さんは台湾有事の発言を謝罪せずきょういをあおり、憲法改正して戦争に向かっているのが本当に怖いです。周りの飲食店も閉店があいついでいて、ここまで日本が棄退しているのは自民党のせいですよ。裏金脱税議員許せません！！
- ・インフレの影響が大きいですが価格に転嫁できず(値上げしたいのだが)とても厳しい。

## サービス業

- ・お客様都合で売上を回収できない案件があり、資金繰りがちょっと苦しいです。

## 佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和7年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、158社（回答率54.4%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

### (1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

### (2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

### (3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

## 3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所